

10月29日執行の白石市長選挙で連続5期の当選を果たし、第13代白石市長に就任した川井市長の5期目の任期が11月14日からスタートしました。白石のまちづくりについての市長の5期目のビジョン、具現化の方策を紹介します。



私は、このたびの選挙において皆さん方のご信任を得て、今後四年間市政を担当させていただくことになりました。白石市のこれまでのまちづくりは、昭和六十三年に策定した第三次白石市総合計画「ホワイトプラン」に基づき、適切な財政運営と時代を先取りした計画によって着実に推進してまいりました。しかしながら、二十一世紀は物の豊かさよりも心の豊かさを求める時代であり、その認識のもとに、白石市は今年度中に第四次となる新たな総合計画「くらし日本一のまちづくりパートナー」を策定し、二十一世紀の白石のまちづくりを進めてまいります。そして、このまちづくりには四本の大きな柱があります。一つは、健康・福祉都市です。これは最高の医療を提供できる公立刈田総合病院を新築し、福祉の里と情報化によって連携させ、健康・福祉・医療の一体化を目指します。二つ目は、環境都市です。上戸沢の産業廃棄物処分場の建設は断固阻止するとともに、全国に先駆けたポイ捨て禁止条例、不伐の森を生かすつ、

最後に、IT先端都市です。二十一世紀は情報化の時代であり、都市間競争に打ち勝つためにマルチメディアの先端を切って走り続けてまいります。以上、四つの柱を実現する方法として、男女共同参画社会の実現により素晴らしい市民の知恵を生かしながら、これまで行ってきたワークショップ方式により、市民総参画のまちづくりを展開してまいります。特に、次ページ記載の事業については、この四年間に必ず実現させてまいります。私は、これら目標の実現、そして「くらし日本一のまち白石」実現のために、市民の皆様と手を携えて、懸命の努力をいたしてまいります。懸念の努力を、一層のご支援をお願いいたします。五期目へ向けてのごあいさつとさせていただきます。

「保健・福祉・医療」の中核となる新刈田病院の開業

市民の命と健康を守り、保健・福祉・医療の一体化の中核となる公立刈田総合病院（白石市外二町組合）は、現在、平成14年春の開院を目指して建設工事を進めています。また、同じ敷地内に白石女子高の看護専攻科もできることから、開院後はその活用を図りながら、最新の医療機器と優秀な医師・看護婦によって、最高の医療が提供されます。



刈田病院完成予想図



自由通路が整備される白石駅前と商店街

点の一つとし、商店街での憩いの場とするためにリニューアル整備してまいります。



障害者と健全者の交流が図られている「福祉プラザやまがき」

また、平成14年春に移転となる公立刈田総合病院跡地を活用し、白石城と中心商店街をつなぐ回遊の拠点とするとともに、中心市街地に必要な広場やコミュニティー機能、商業、福祉などの複合的な機能を導入いたします。さらに、壽丸屋敷を白石駅、刈田病院跡地、白石城の回遊ルートの拠

南中学校・福岡中学校の体育館建設

南中学校体育館は建築後40年以上が経過し、老朽化が著しい状態にあることから、現在、新築に向けてワークショップを開催するなど、市民の皆さんのご意見を伺いながら、より良い学校づくりの準備を進めています。また、福岡中学校体育館についても建築後47年が経過し、改築が必要な状態となっています。両校体育館ともに平成13年度の完成を目指します。



改築される福岡中学校体育館

平成13～16年

今後
4年間に
行く
主な事業

中心市街地の活性化

中心市街地の活性化については、市民のご意見、ご提言を受けて策定された「白石市中心市街地活性化基本計画」に基づき、進めてまいります。具体的には、東北本線により分断されている白石駅東西間の連携を高めるために、車いすも通れる自由通路の整備を行います。

ノーマライゼーションのまちづくり

市では、これまで進めてまいりました「高齢者や障害者にやさしいまちづくり」や、10月にオープンした施設「白石市福祉プラザやまがき」を通して、障害者と健全者が共生できる「ノーマライゼーション」のま

10月29日執行の白石市議会議員補欠選挙で、吉田貞子さんが当選しました。

職業
主婦(無職)
所属政党
無所属
常任委員会
建設水道
出身地区
白石

吉田貞子氏
(43歳)

白石スキーマ場割引券利用方法
印刷してある割引券を切り
離して、スキーマ場ソフト券
売り場に提出してください